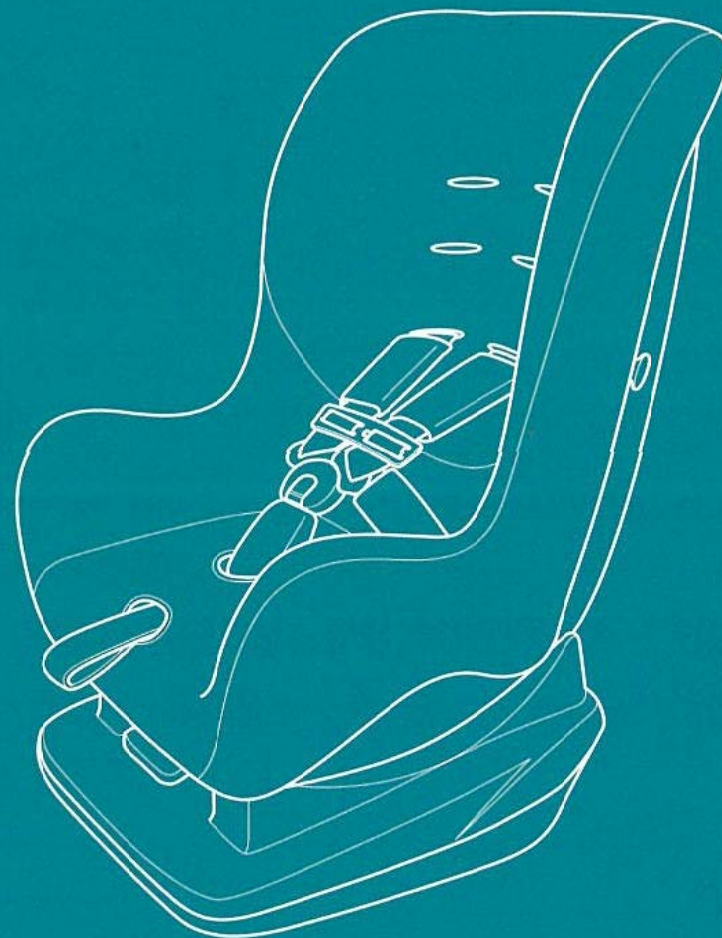


トヨタ純正

チャイルドシート『G-Childプラス』取扱書



運輸省型式指定合格



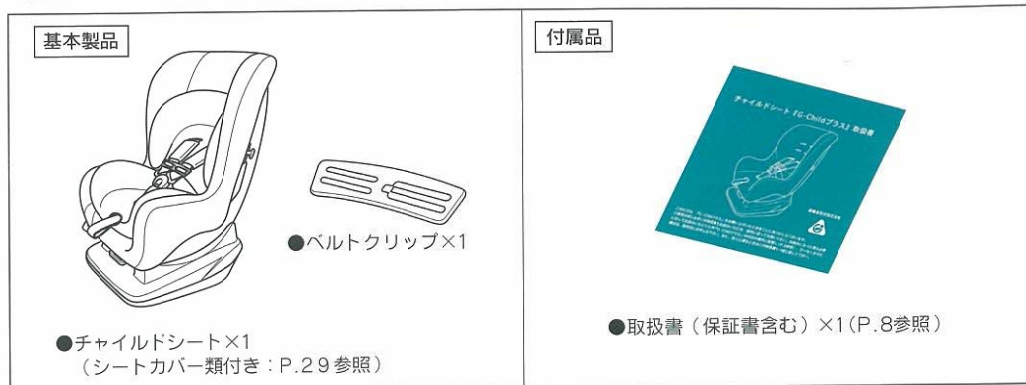
このたびは、『G-Childプラス』をお買い上げいただきまことにありがとうございます。
ご使用の前に必ずこの取扱書をお読みいただき、説明に従ってお使い下さい。お読みになった後も必要に応じてお読みいただくため『G-Childプラス』の所定の場所に保管し（P.8参照）、万一なくされた場合は、販売店にお申し出下さい。また、他人に譲るときはこの取扱書も一緒に渡して下さい。

目次

お使いいただく前に	1
● 製品の構成	1
● ご使用前の点検	1
● チャイルドシート『G-Childプラス』について	1
● 警告表示について	2
● ラベル類について	2
● ご使用の条件	2
● 次のような座席にはお使いにならないで下さい	2
● ご使用上の注意	3
ラベル類の貼付位置及び内容	5
各部の名称	7
取り付けできるシートベルト・取り付けできないシートベルト	9
保護者の方々へ	11
● 保護者の方々へ	11
● 緊急時には	11
● 取り付け前点検	11
自動車への取り付け方法	12
● 体重9kg未満のお子さまの場合（後ろ向き使用）	12
● 体重9kg～18kg未満のお子さまの場合（前向き使用）	18

お子さまの座らせ方と肩ベルトの着用	22
● お子さまの座らせ方と肩ハーネスの着用	22
各部の操作方法	24
● 肩ベルトの高さ調節	24
● リクライニング調節	25
● バックルの着脱方法	25
● バックカバーの着脱方法	26
● ベルトクリップの使い方	27
お手入れ	28
● シートカバー類の洗濯	28
● シートフレーム等のお手入れ	28
● シートカバー類の取り外し方	29
● シートカバー類の取り付け方	30
● アフターサービスについて	30
保証書	31
補修部品について	32

製品の構成 梱包箱に含まれている物は下記のとおりです。



ご使用前の点検 箱から取り出した後やお使いいただく前は必ず次の点検を行って下さい。

- ① チャイルドシートや、付属品およびシートカバー類がそろっているか確認して下さい。
- ② チャイルドシートや、付属品およびシートカバー類に破損等がないか確認して下さい。

●上記点検を行った際、欠品や破損等ございましたら使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社お客様相談センターまでご連絡下さい。また、ご不明な点があります場合や、故障、修理の際も同様にご連絡下さい。

※当社連絡先は裏表紙に記載してあります。

●保証書がこの取扱書のP.31に含まれております。詳しくはP.30の「アフターサービスについて」をお読み下さい。

チャイルドシート『G-Childプラス』について

このチャイルドシート「G-Childプラス」はシートベルトで自動車の座席に固定してお使いいただくことにより、自動車事故などの際に、お子さまを傷害から守ったり傷害を軽減する自動車用チャイルドシートです。しかし、チャイルドシートは自動車事故等において、必ずしもお子さまを無傷で守ることができるわけではありません。

警告表示について

この取扱書には安全にご使用していただくため特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています。これら記載は重要ですので、よくお読み下さい。

危険

指示に従わないと死亡または重傷に至るもの。

警告

指示に従わないと死亡または重傷に至る可能性があるもの。

注意

指示に従わないと軽傷または財物を損傷させる可能性があるもの。

お願い

指示に従わないとチャイルドシートを損傷させる可能性があるもの。

ラベル類について

本製品には、お客様への危害防止のため、警告ラベル等のラベルが貼付されています（P.5～6「ラベル類の貼付位置及び内容」参照）。ラベル類は汚したり、はがしたりしないようにして下さい。また、ラベル類が読めなくなったりした場合は、製品名をご確認の上、お買い上げの販売店または当社お客様相談センターまでご連絡下さい。

ご使用の条件 警告

※下記の条件を満たさないお子さまは使用しないで下さい。この条件を満たさないお子さまには事故時のダメージを軽減する効果がありません。

チャイルドシート『G-Childプラス』をお使いいただけるお子さま

使用方法	後ろ向き使用（3点式シートベルト）	前向き使用
使用条件	体重：9kg未満	体重：9kg～18kg未満
参考年齢	新生児～9ヶ月頃まで	9ヶ月頃～4才頃まで
取り付け例		

このチャイルドシートは、2点式／3点式／巻取装置なし／巻取装置付座席ベルトを装備する自動車にのみ使用できます。

次のような座席にはお使いにならないで下さい 危険

※事故時にお子さまに加わるダメージを軽減する効果がなかったり、逆にお子さまや他の乗員が重大な傷害を被ります。

- 2点式シートベルトの付いた座席
- エアバッグの付いている座席（体重9kg未満：後ろ向き使用の場合）
- シートベルトの付いていない座席
- P.9～10で取り付けできないと明記されているシートベルトの付いている座席
- 進行方向に対し横向き、後ろ向きの座席
- チャイルドシートを取り付けると運転に支障をきたす座席（ルームミラーやサイドミラーが見えなくなる等）

ご使用上の注意



＜取り付け前＞

- お子さまが乗っていない時でも自動車内にチャイルドシートを乗せている場合は、自動車のシートベルトで必ず固定しておいて下さい。急ブレーキや衝突等の衝撃でチャイルドシートが移動して他の乗員にぶつかるおそれがあり、大変危険です。
- この取扱書で指定する取り付け方法および使用方法を確実に守り、チャイルドシートをご使用下さい。もし確実に守らなかった場合、事故時のダメージを軽減する機能が発揮できません。
- チャイルドシートの取り付けや調節は停車中に行い、運転中は絶対チャイルドシートを操作しないで下さい。運転の妨げや取り付け方・調節が不適切になり、事故やケガにつながるおそれがあります。
- チャイルドシートを固いもの（自動車のドアやシートのレールなど）の間にはさんだりして損傷させないようにして下さい。チャイルドシートが損傷すると事故時のダメージを軽減する機能が低下するおそれがあります。
- 自動車衝突事故等により強い衝撃を受けたチャイルドシートは絶対に使用しないで下さい。衝撃により事故時のダメージを軽減する機能が損なわれているおそれがあります。
- チャイルドシートに異常があると感じたときは使用しないで下さい。事故時のダメージを軽減する機能が損なわれているおそれがあります。
- なるべく安全性の高い後部座席でご使用下さい。前部座席には、事故時に後部座席より大きな衝撃が加わる可能性が高いといわれています。
- 自動車に、急ブレーキなどで前に飛び出すような重いものや尖ったものを置かないで下さい。万一のときにお子さまにぶつかりケガの原因となります。
- 本取扱書に記載している用途以外は使用しないで下さい。お子さまの首にベルトがからまるなどの思わぬ事故をまねくおそれがあります。
- 拘束性能に影響を与えるおそれがあるため、専用シートカバー類以外は絶対に使用しないで下さい。

＜取り付けるとき＞

- チャイルドシートの向きは、体重9kg未満のお子さまには後ろ向きで使用し、体重9kg～18kg未満のお子さまには前向きで使用して下さい。誤った使用方法では、事故時のダメージを軽減する機能が発揮できません。
- チャイルドシートを自動車に固定するシートベルトは緩みのないようにして下さい。チャイルドシートのガタツキが生じ、事故時のダメージを軽減する機能が発揮できなくなるおそれがあります。

＜お子さまを座らせるとき＞

- お子さまをチャイルドシートに座らせたら、必ずチャイルドシートのタンクをバックルに差し込んで下さい。タンクが正しく差し込まれていないと、事故時のダメージを軽減する機能が発揮できません。
- 肩ベルトが外れないように、ベルトクリップは必ず胸の辺りに取り付けして下さい。肩ベルトが外れると、急ブレーキや衝突等の衝撃で、お子さまがチャイルドシートから飛び出すおそれがあります。
- ベルトはお子さまの身体に合わせてしっかりと調節し、ねじれないようにして下さい。正しく着用していないと、事故時のダメージを軽減する機能が発揮できなくなるおそれがあります。

- 腰ベルトで骨盤がしっかりと拘束されるように必ず腰ベルトを低く下げて着用させて下さい。腹部に腰ベルトがかかっていると、事故等で大きな衝撃がお子さまに加わったときに腹部が圧迫されるおそれがあります。
- チャイルドシートのリクライニングの位置は、前向き使用時は1～2段目で、後ろ向き使用時は3段目でお使い下さい。他の箇所で使用すると、事故時のダメージを軽減する機能が発揮できません。

＜使用するとき＞

- チャイルドシートを取り付けた後は自動車の座席の各種調節装置を調節しないで下さい。取り付け位置がずれたりしてチャイルドシートのガタツキが生じ、事故時のダメージを軽減する機能が発揮できなくなるおそれがあります。
- 自動車のシートベルトやチャイルドシートのベルトを刃物等で傷つけないよう気をつけて下さい。少しでも傷ついていると、急ブレーキや衝突等の衝撃でシートベルトやベルトが切れるなどして、お子さまがチャイルドシートから飛び出すおそれがあります。
- お子さまをチャイルドシートに座らせたまま自動車から離れないで下さい。自動車内にお子さまだけを残すと、首にベルトがからまるなどの思わぬ事故をまねくおそれがあります。
- お子さまがチャイルドシートを使用中は、お子さまに固いもの、鋭利なもの（先端のとがった固いもの）等危険な物を絶対に持たせないで下さい。わずかな衝撃時にも大変危険です。
- お子さまがチャイルドシートを使用中は、お子さまがバックルに触れないように注意して下さい。バックルに触れるとタンクがバックルから外れ、衝突や急ブレーキ時などに、ベルトがお子さまの首を圧迫するおそれがあります。
- 故障の原因となります。チャイルドシートに食べ物、飲物をこぼさない様に注意して下さい。

＜修理・保管＞

- チャイルドシートを分解（取扱書で指示のある取り外し以外）、改造した状態での使用、指定以外のものとの交換等の改造は絶対にしないで下さい。事故時のダメージを軽減する機能が発揮できません。
- お客様による修理はしないで下さい。これに従わなかった場合は、事故時のダメージを軽減する機能が損なわれるおそれがあります。
- バックル部分は、常に清潔にしておいて下さい。異物（食べ物、飲物など）などが詰まると、タンクを確実に差し込めなくなったりするなどのため、事故時のダメージを軽減する機能が損なわれるおそれがあります。
- 長時間屋外に放置しないで下さい。直射日光や風雨に長時間さらされるとプラスチック部が劣化し、事故時のダメージを軽減する機能が損なわれるおそれがあります。
- 高温多湿の場所での長期保管はさけて下さい。プラスチック部が劣化し、事故時のダメージを軽減する機能が損なわれるおそれがあります。

ご使用上の注意



- 強い日光に当たると金属部やプラスチック部が熱くなり、やけどをする可能性があります。チャイルドシートを使用していないときは毛布などをかけておき、使用するときは金属部やプラスチック部が熱くないことを確認してから、お子さまを座らせて下さい。
- シートカバー類は必ず取付けて使用して下さい。取り付けない状態での使用は、強い日光により、プラスチック部などが高温になり、やけどをする可能性があり大変危険ですので絶対におやめ下さい。

[illegible]

正面

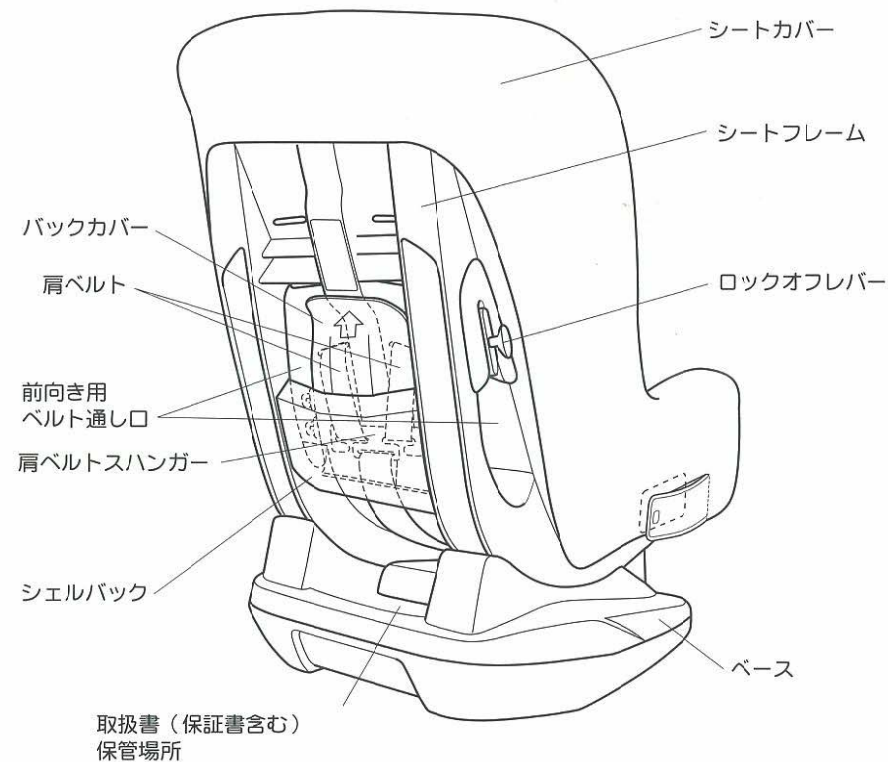


製品の仕様

重量：7.0kg

寸法：W450×D540×H685mm

背面



取り付けできるシートベルト・取り付けできないシートベルト

※自動車のシートベルトの種類、特徴、長さの調節のしかた等詳しくは自動車の取扱書をお読み下さい。

⊗危険 2点式シートベルトの付いた座席には取り付けないでください

⊗危険 エアバッグ付きの座席には使用しないで下さい。事故時にエアバックがお子さまに激突することでお子さまが大ケガをするおそれがあります。

⊗危険 取り付けできないシートベルトが付いた座席にはチャイルドシートをお使いにならないで下さい。事故時のダメージを軽減する機能が発揮されません。

シートベルトの種類		特 徴	○：取り付けできる ×：取り付けできない	取り付けの際の注意点
2点式シートベルト		肩ベルトがない腰ベルトのみのシートベルト	⊗危険 ×	チャイルドシートを取り付けしないで下さい。
3点式シートベルト	ELR（緊急ロック式ベルト巻取り装置）付シートベルト	ELRベルトとは、ベルトをゆっくり引き出せば自由に出入りするが、急に引き出したり急ブレーキ等のショックを与えるとロックされるシートベルト。自動車の3点式シートベルトのほとんどにELRが使われています。また、腰ベルト側にELRが付いた3点式シートベルトもあります。	○	⚠警告 走行中シートベルトが緩み、チャイルドシートがズれるおそれがありますので、後ろ向き使用の場合はロックオフクリップをご使用下さい。また、前向き使用の場合はロックオフレバーをご使用下さい。
	腰ベルト側にELRが付いたシートベルト		⊗危険 ×	チャイルドシートを取り付けしないで下さい。
	ALR（自動ロック式ベルト巻取り装置）付シートベルト	シートベルトを引き出す途中で手をとめると、ベルトが自動ロックされ、それ以上引き出せない。	○	チャイルドシートを固定するのに必要な長さのシートベルトを一気に引き出して固定して下さい。
	ELR・ALR付シートベルト（チャイルドシート固定機能付きシートベルト）	通常はELRの機能だが、シートベルトを全量引き出すとALRの機能に切り替わるシートベルト。	○	チャイルドシートを固定する時、必ずシートベルトを全量引き出しALR機能に切り替えてから固定して下さい。
	NLR（非ロック式ベルト巻取り装置）付シートベルト	ロック機構がなく、シートベルトを全量引き出し、長さを調節して使用する。	○	巻取り装置からシートベルトを全量引き出し、チャイルドシートに合わせてシートベルトの長さを調節し固定して下さい。
マニュアル式シートベルト		巻取り装置のない3点式シートベルト。	○	チャイルドシートに合わせてシートベルトの長さを調節し固定して下さい。
オートマチックシートベルト		前部座席に乗ってドアを閉めると自動的にシートベルトが装着され、ドアを開けると自動的にシートベルトが外れるタイプのシートベルト。	⊗危険 ×	チャイルドシートを取り付けしないで下さい。
その他のシートベルト		表に記載されていないもの全て。	⊗危険 ×	チャイルドシートを取り付けしないで下さい。

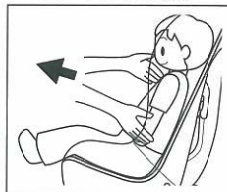
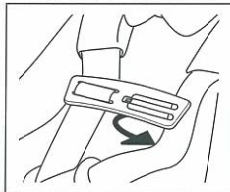
保護者の方々へ

- 常に自動車のシートベルトを着用し、自らお子さまへお手本を示されるようにして下さい。
- 長距離ドライブのときは、時々休憩してお子さまに体を動かす機会を与えてるようにして下さい。
- 事情が許す限りお子さまを車道側から乗り降りさせないようにして下さい。
- チャイルドシートをお供いの時もスピードは控えめにしましょう。

緊急時には

衝突事故等の緊急時は、あわてず次の順序ですみやかにお子さまを救出して下さい。

- ① 向かって右側のベルトクリップから肩ハーネスを外す。
- ② バックルボタンを指で押し、タングを外す。
- ③ 肩ベルトをお子さまから外す。
- ④ お子さまを静かにチャイルドシートから降ろす。



※バックルボタンを押してもタングが外れないときはハーネスを切断するなどしてハーネスを外して下さい。

取り付け前点検

自動車への取り付け前に必ず確認して下さい。

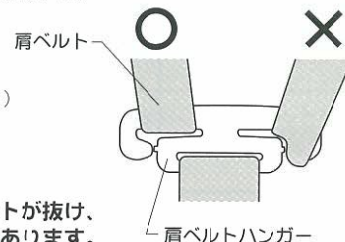
- 1 バックカバーが正しく装着されていることを確認する。

警告 バックカバーを取り付けずに使用すると、事故時のダメージを軽減する機能が発揮できなくなるおそれがあります。

- 2 肩ベルトが肩ベルトハンガーに正しく取り付けられていることを確認する。

(確認手順)

- ① バックカバーを外す。
※バックカバーの脱着方法はP.26 参照。
- ② ベルトアジャスターレバーを上げ、肩ベルトを引き出す。(P.22 2 参照)
- ③ ※肩ベルトハンガーがシェルバックより上に表れます。
- ④ 肩ベルトが肩ベルトハンガーに正しく取り付けられていることを確認する。
バックカバーを取り付ける。



警告 肩ベルトが正しく取り付けられていないと、衝撃時にベルトが抜け、事故時のダメージを軽減する機能を発揮できないおそれがあります。

体重9kg未満のお子さまの場合（後ろ向き使用）

危険 エアバッグの付いている座席にチャイルドシートを取り付けしないで下さい。事故時にエアバッグが作動し、お子さまに大きな衝撃が加わり、大変危険です。

警告 体重9kg未満のお子さまには必ず後ろ向きでお使い下さい。体重9kg～18kg未満のお子さまには必ず前向きでお使い下さい。誤った使用方法では、事故時のダメージを軽減する機能が発揮できません。*

警告 チャイルドシートを固定した後は、自動車の座席のリクライニング装置を調節しないで下さい。取り付け位置がずれたりしてチャイルドシートのがたつきが生じ、事故時のダメージを軽減する機能が発揮できなくなるおそれがあります。

警告 なるべく安全性の高い後部座席でご使用下さい。前部座席には、事故時に後部座席より大きな衝撃が加わる可能性が高いといわれています。

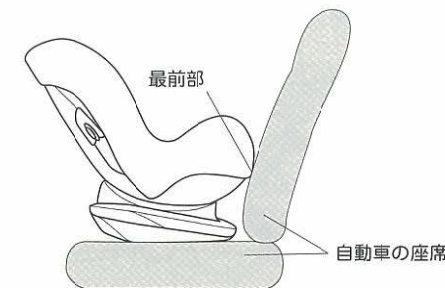
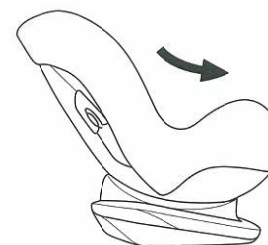
警告 チャイルドシートの取り付けや調節は停車中に行い、運転中は絶対チャイルドシートを操作しないで下さい。運転の妨げや取り付け方・調節が不適切になり、事故やケガにつながるおそれがあります。

ELR付3点式シートベルトでの取り付け方

- 1 チャイルドシートのリクライニングを3段目にセットする（P.25「リクライニング調節」参照）。前部座席で使用するときは、一旦自動車の座席を最後部にスライドさせる。

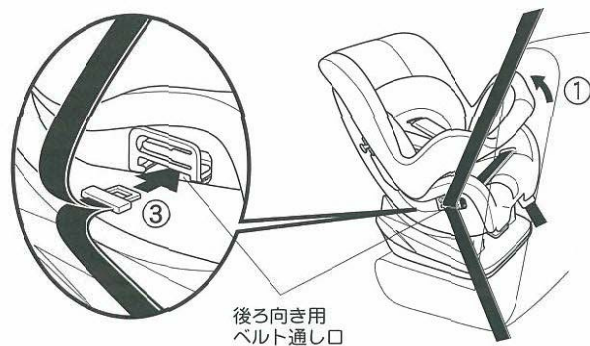
- 2 チャイルドシートの最前部が座席の背もたれにぴったりつくようにチャイルドシートを自動車の座席に置く。

警告 チャイルドシートのリクライニングは、必ず3段目のリクライニング位置でお使い下さい（P.25「リクライニング調節」参照）。他の箇所で使用すると、事故時のダメージを軽減する機能が発揮できません。



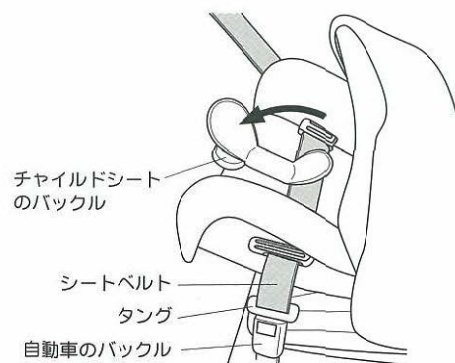
* 体重9kg未満のお子様には（後ろ向き取り付け時）、ネストクッションを取り付けた状態で評価しておりますので、必ずネストクッションを取り付けて使用してください。

- 3 ①シートクッションの前部分をめくる。②チャイルドシートのタングを外したバックルをシートクッションから抜く。③シートベルトを後ろ向き用ベルト通し口に通す。

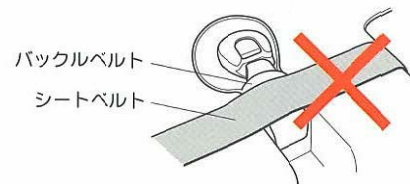


⚠警告 後ろ向き用ベルト通し口以外にシートベルトを通さないで下さい。他の箇所に使用すると、事故時のダメージを軽減する機能が発揮できません。

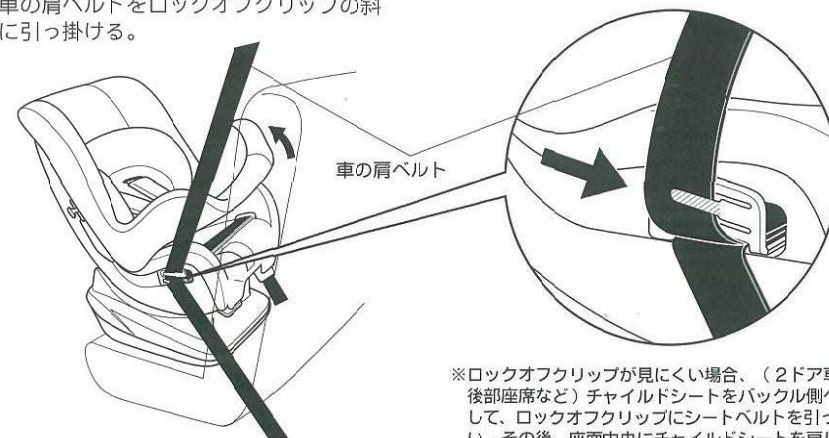
- 4 チャイルドシートのバックルを車のシートバック側に倒す。シートベルトのねじれがないことを確認して、シートベルトのタングを車のバックルに差し込む。



⚠警告 バックルベルトの上にシートベルトを通さないで下さい。バックル位置がズレて、事故時のダメージを軽減する機能が損なわれるおそれがあります。

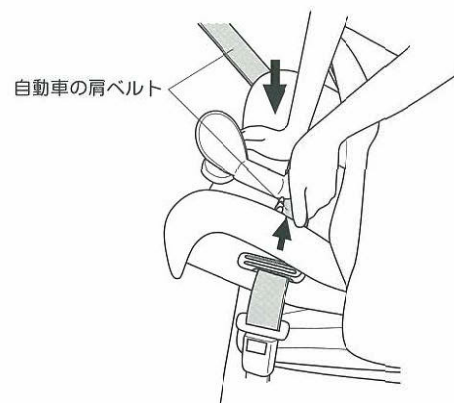


- 5 自動車の肩ベルトをロックオフクリップの斜線部に引っ掛ける。

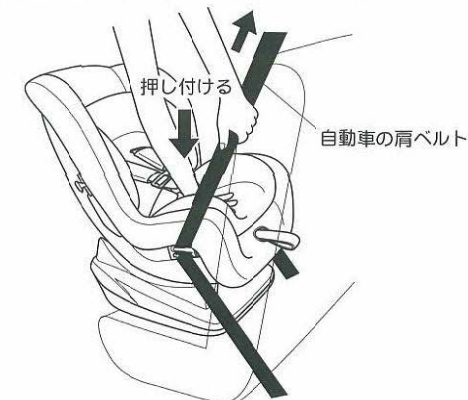


※ロックオフクリップが見にくい場合、(2ドア車やRV車の後部座席など)チャイルドシートをバックル側へ引っぱり出して、ロックオフクリップにシートベルトを引っ掛けて下さい。その後、座面中央にチャイルドシートを戻して下さい。

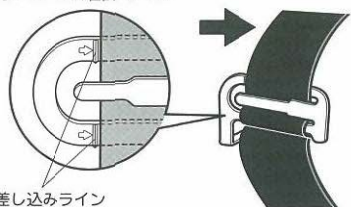
- 6 チャイルドシートに体重をかけ、下に強く押し付けながら自動車のバックル側の肩ベルトを引き、自動車の腰ベルトをきつく締めつける。



- 7 チャイルドシートに体重をかけ、下に強く押し付けながらシートベルト巻取装置側の自動車の肩ベルトを引き、シートベルトのたるみを取る。

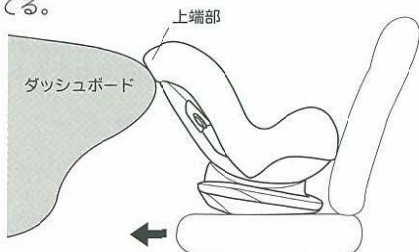


- 8 ロックオフクリップの奥まで、自動車の肩ベルトを差し込む。ベルト差し込みラインが出ていることを確認する。



⚠警告 シートベルトを奥まで差し込んで下さい。差し込まないと、走行中にシートベルトが緩み、事故時のダメージを軽減する機能が発揮できなくなるおそれがあります。

- 10 前後スライドできる座席では、シートを前方にスライドさせ、チャイルドシートの上端部をダッシュボードや、前席シートバックに当てる。



⚠警告 座席をスライドさせてもチャイルドシートの上端部がダッシュボードに当たらない場合は、自動車の座席を最後部にスライドさせダッシュボードとの間隔を充分とってお使い下さい。充分な間隔がないと、衝突時にチャイルドシートがダッシュボードにぶつかり危険です。

⚠警告 チャイルドシートを自動車に固定するシートベルトは緩みのないようにして下さい。チャイルドシートのがたつきが生じ、事故時のダメージを軽減する機能が発揮できなくなるおそれがあります。

- 9 バックルをシートクッションの穴に通しシートクッションをかぶせる。

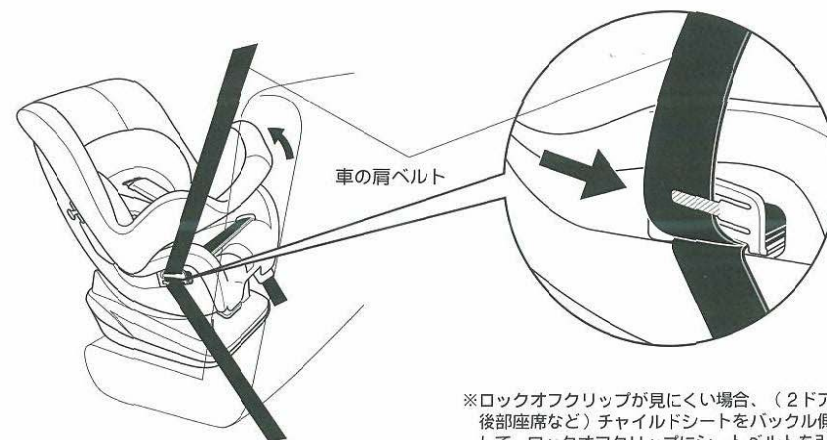
- 11 チャイルドシート本体の後ろ向き月ベルト通し口付近を持ち、前後左右に動かしてみる。ぐらつく場合は、もう一度取り付け直して下さい。



ELR・ALR付3点式シートベルトでの取り付け方

■このシートベルトは後部座席に付いており、シートベルトを全量引き出し、少し戻すと自動的にALR機能に切り替わります。シートベルトを全て巻き戻すと元に戻ります。ALR機能・使い方等詳しくは自動車の取扱書をお読み下さい。

- 1 ①P.12～13「ELR付3点式シートベルトでの取り付け方」の1～5の手順にしたがう。



※ロックオフクリップが見にくい場合、(2ドア車やRV車の後部座席など)チャイルドシートをバックル側へ引っぱり出して、ロックオフクリップにシートベルトを引っ掛けて下さい。その後、座面中央にチャイルドシートを戻して下さい。

- 2 シートベルトを全量引き出し、ALR機能に切り替える。

- 3 P.14～15「ELR付き3点式シートベルトでの取り付け方」の6～11の手順にしたがう。

⚠警告 チャイルドシートを自動車に固定するシートベルトは緩みのないようにして下さい。チャイルドシートのがたつきが生じ、事故時のダメージを軽減する機能が発揮できなくなるおそれがあります。

ALR付3点式シートベルトでの取り付け方

- 基本的な取り付け方はP.12～15「ELR付3点式シートベルトでの取り付け方」と同じです。P.13の③の手順をするときには、シートベルトを固定に必要な量だけ一気に引き出す必要があります。このシートベルトは、シートベルトを引き出す途中で止めると、ベルトが自動ロックされ、それ以上引き出せなくなります。シートベルトを全て巻き戻すと元に戻ります。ALR機能・使い方等詳しくは自動車の取扱書をお読み下さい。

NLR付3点式シートベルトでの取り付け方

- 基本的な取り付け方はP.12～15「ELR付3点式シートベルトでの取り付け方」と同じです。このシートベルトはロック機構がなく、シートベルトを全量引き出し、長さを調節して使用します。長さ調節のしかた等詳しくは自動車の取扱書をお読み下さい。

マニュアル式3点式シートベルトでの取り付け方

- 基本的な取り付け方はP.12～15「ELR付3点式シートベルトでの取り付け方」と同じです。このシートベルトは、チャイルドシートに合わせてシートベルトの長さを調節して使用します。長さの調節等詳しくは自動車の取扱書をお読み下さい。

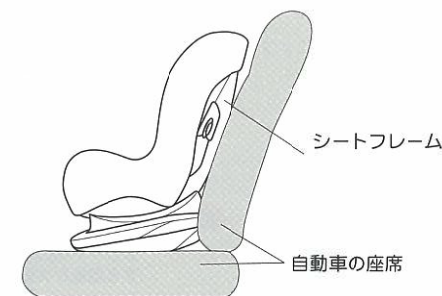
体重9kg～18kg未満のお子さまの場合（前向き使用）

- ⚠警告 体重9kg～18kg未満のお子さまには必ず前向きでお使い下さい。体重9kg未満のお子さまには必ず後ろ向きでお使い下さい。誤った使用方法では、事故時のダメージを軽減する機能が発揮できません。
- ⚠警告 チャイルドシートを固定した後は、自動車の座席のリクライニング装置を調節しないで下さい。取り付け位置がずれたりしてチャイルドシートのガタツキが生じ、事故時のダメージを軽減する機能が発揮できなくなるおそれがあります。
- ⚠警告 なるべく安全性の高い後部座席でご使用下さい。前部座席には、事故時に後部座席より大きな衝撃が加わる可能性が高いといわれています。
- ⚠警告 チャイルドシートの取り付けや調節は停車中に行い、運転中は絶対チャイルドシートを操作しないで下さい。運転の妨げや取り付け方・調節が不適切になり、事故やケガにつながるおそれがあります。

ELR付3点式シートベルトでの取り付け方

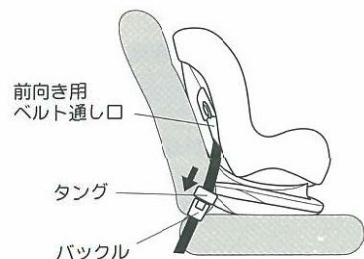
- 1 ①チャイルドシートのリクライニングを1～2段目にセットして、チャイルドシートを自動車の座席に置く（P.25「リクライニング調節」参照）。②シートフレームを座席の背もたれにぴったりつける。

- ⚠警告 前部座席で使用するときは、必ず自動車の座席を最後部にスライドさせて使用して下さい。
- ⚠警告 チャイルドシートのリクライニングは、必ず1～2段目のいずれかのリクライニング位置でお使い下さい（P.25「リクライニング調節」参照）。他の箇所で使用すると、事故時のダメージを軽減する機能が発揮できません。
- ⚠警告 シートフレームが車の背もたれについていない場合は、自動車の座席のリクライニング装置で座席背もたれの角度を調節し、シートフレームが背もたれにつくようにして下さい。

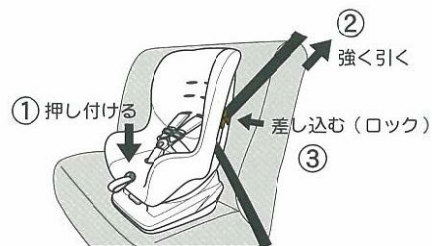


- 2** シートベルトを前向き用ベルト通し口に通し、シートベルトにねじれがないことを確認してシートベルトのタングを自動車のバックルに差し込み固定する。

⚠警告 前向き用ベルト通し口以外にシートベルトを通さないで下さい。他の箇所に使用すると、事故時のダメージを軽減する機能が発揮できません。

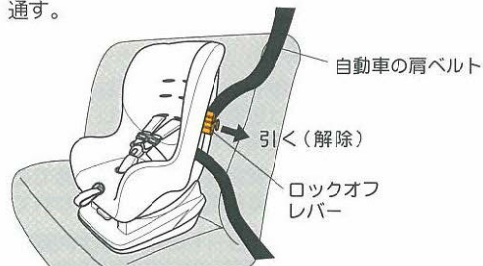


- 4** ①チャイルドシートに体重をかけ、下に強く押し付けて下さい。②自動車の肩ベルトを強く引く。③ロックオフレバーを一番奥まで差し込む。



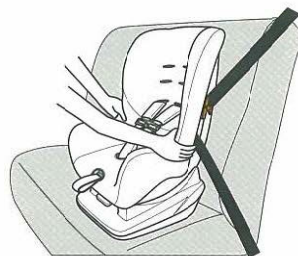
⚠警告 ロックオフレバーを奥まで差し込んで下さい。奥まで差し込まないと、シートベルトがゆるみ、事故時のダメージを軽減する機能が発揮できなくなるおそれがあります。

- 3** チャイルドシートの側面に付いているロックオフレバーを引き、ロックオフレバーと本体側の矢印の間にシートベルトの自動車の肩ベルトを通す。



※ロックオフレバーを使用することにより、ELR付3点式シートベルトでの取り付け時でも、走行中にチャイルドシートがずれたり、動いたりすることなく、確実に自動車の座席に固定することができます。

- 5** チャイルドシート本体の前向きベルト通し口付近を持ち、前後左右に動かしてみる。ぐらつく場合は、もう一度取り付け直して下さい。



⚠警告 チャイルドシートを車両に固定するシートベルトは緩みのないようにして下さい。緩みがあると、チャイルドシートのカタツキが生じ、事故時のダメージを軽減する機能が発揮できなくなるおそれがあります。

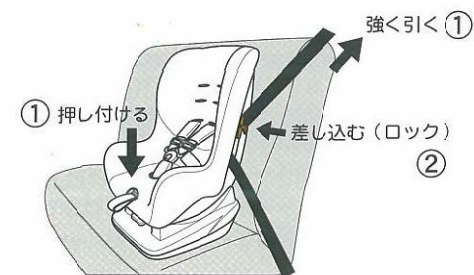
ELR・ALR付3点式シートベルトでの取り付け方

■このシートベルトは後部座席に付いており、シートベルトを全量引き出し、少し戻すと自動的にALR機能に切り替わります。シートベルトを全て巻き戻すと元に戻ります。ALR機能・使い方等詳しくは自動車の取扱書をお読み下さい。

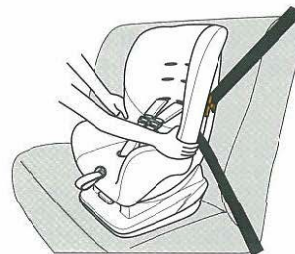
- 1** P.18～19の「ELR付3点式シートベルトでの取り付け方」①～③までの手順にしたがう。
②シートベルトを全量引き出し、ALR機能に切り替える。



- 2** ①チャイルドシートに体重をかけ、下に強く押し付けながらシートベルトの自動車の肩ベルトを引き、余分なベルトを巻取る。②ロックオフレバーを一番奥までしっかり差し込む。



- 3** チャイルドシート本体の前向きベルト通し口付近を持ち、前後左右に動かしてみる。ぐらつく場合は、もう一度取り付け直して下さい。



⚠警告 チャイルドシートを自動車に固定するシートベルトは緩みのないようにして下さい。緩みがあると、チャイルドシートのカタツキが生じ、事故時のダメージを軽減する機能が発揮できなくなるおそれがあります。

ALR付3点式シートベルトでの取り付け方

- 基本的な取り付け方はP.18～20の「ELR付3点式シートベルトでの取り付け方」と同じですが、P.19の②の手順をするときには、シートベルトを固定に必要な量だけ一気に引き出す必要があります。このシートベルトは、シートベルトを引き出す途中で止めると、ベルトが自動ロックされ、それ以上引き出せなくなります。シートベルトを全て巻き戻すと元に戻ります。ALR機能・使い方等詳しくは自動車の取扱書をお読み下さい。

NLR付3点式シートベルトでの取り付け方

- 基本的な取り付け方はP.18～20の「ELR付3点式シートベルトでの取り付け方」と同じですが、このシートベルトにはロック機構がなく、シートベルトを全量引き出し、チャイルドシートに合わせてシートベルトの長さを調節して使用します。長さ調節のしかた等詳しくは自動車の取扱書をお読み下さい。

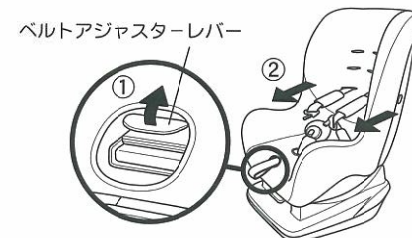
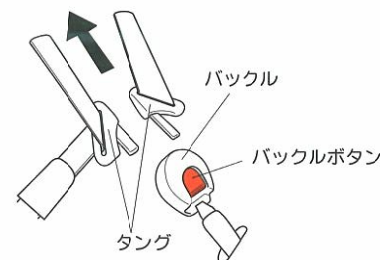
マニュアル式3点式シートベルトでの取り付け方

- 基本的な取り付け方はP.18～20の「ELR付3点式シートベルトでの取り付け方」と同じですが、このシートベルトは、チャイルドシートに合わせてシートベルトの長さを調節して使用します。長さの調節等詳しくは自動車の取扱書をお読み下さい。

お子さまの座らせ方と肩ハーネスの着用

- ⚠ 警告** お子さまを座らせる前に、もう一度チャイルドシートが車の座席にしっかりと固定されていることを確認して下さい。チャイルドシートにガタツキがあると、事故時のダメージを軽減する機能が発揮できなくなるおそれがあります。
- ⚠ 警告** 後ろ向き使用の場合は、ロックオフクリップにシートベルトが奥まで差し込まれていること。また、前向き使用の場合は、ロックオフレバーがしっかりと差し込まれていることを、使用前に必ず確認して下さい。シートベルトがゆるんでチャイルドシートにガタツキが生じ、事故時のダメージを軽減する機能が発揮できなくなるおそれがあります。
- ⚠ 警告** 自動車衝突事故等により強い衝撃を受けたチャイルドシートは絶対に使用しないで下さい。衝撃により事故時のダメージを軽減する機能が損なわれているおそれがあります。
- ⚠ 警告** チャイルドシートに異常があると感じたときは使用しないで下さい。事故時のダメージを軽減する機能が損なわれているおそれがあります。
- ⚠ 警告** バックル部分は、常に清潔にしておいて下さい。異物などが詰まると、タングを確実に差し込めなくなったりするなどのため、事故時のダメージを軽減する機能が損なわれるおそれがあります。

- 1** チャイルドシートのバックルボタンを押し、タングをバックルから外す。
- 2** ①ベルトアジャスターレバーを持ち上げながら、
②2本の肩ベルトを引き出してゆるめる。
③アジャスターベルトの端をシートカバーのベルトアジャスターレバー付近にあるホックにとめて下さい。



- 3** お子さまをシートクッションの上に深く腰かけさせ、2つのタングをバックルに力チャというロック音がするまで差し込む。(P.24「バックルの着脱方法」参照)。

- ⚠ 警告** お子さまをチャイルドシートに座らせたら、必ずチャイルドシートのタングをバックルに差し込んで下さい。タングが正しく差し込まれていないと、衝突や急ブレーキ時などに、ハーネスがお子さまの首を圧迫するおそれがあります。



- 4** ③の手順のときに肩ベルトの高さがお子さまの肩高さに合わないようなら、肩ベルトの高さを調節する。(P.24「肩ベルトの高さ調節」参照)。

★お子さまの成長により肩ベルト通し穴が肩より著しく低くなり、肩高さに合わなくなったらネストクッションを取り外して使用して下さい。*

* 体重9kg未満のお子様には（後ろ向き取り付け時）、ネストクッションを取り付けた状態で評価しておりますので、必ずネストクッションを取り付けて使用して下さい。

- 5** アジャストベルトを引き、お子さまの体と肩ベルトの間に手のひらが入る程度まで肩ベルトのたるみを取り除く。

⚠警告 ベルトはお子さまの身体に合わせてしっかりと調節し、ねじれないようにして下さい。正しく着用していないと、事故時のダメージを軽減する機能が発揮できなくなるおそれがあります。



- ⚠警告** 腰ベルトで骨盤がしっかりと拘束されるように必ず腰ベルトを低く下げて着用させて下さい。腹部に腰ベルトがかかっていると、事故等で大きな衝撃がお子さまに加わったときに腹部が圧迫されるおそれがあります。
- ⚠警告** 運転前に、タンクがバックルに差し込まれており、タンクが抜けないことを確認して下さい。タンクが抜けると、衝突や急ブレーキなど時に、事故時のダメージを軽減する機能が発揮できなくなるおそれがあります。
- ⚠警告** お子さまをチャイルドシートに座らせたまま自動車から離れないで下さい。自動車内にお子さまだけを残すと、首にベルトがからまるなどの事故をまねくおそれがあり危険です。
- ⚠警告** チャイルドシートを固いもの（自動車のドアやシートのレールなど）の間にはさんだりして損傷させないようにして下さい。チャイルドシートが損傷すると事故時のダメージを軽減する機能が低下するおそれがあります。
- ⚠警告** お子さまがチャイルドシートを使用中は、お子さまに固いもの、鋭利なもの（先端のとがった固いもの）等危険な物を絶対に持たせないで下さい。わずかな衝撃時にも大変危険です。
- ⚠警告** 肩ベルトの調節は、走行中には行わないで下さい。運転の妨げや取り付け方が不適切になり、事故やケガにつながるおそれがあります。
- ⚠警告** お子さまがチャイルドシートを使用中は、お子さまがバックルに触れないように注意して下さい。バックルに触れるとバックルが外れ、衝突や急ブレーキなど時に、ベルトがお子さまの首を圧迫するおそれがあります。
- ⚠警告** 自動車に、急ブレーキなどで前に飛び出すような重いものや尖ったものを置かないで下さい。万一のときにお子さまにぶつかりケガの原因となります。
- ⚠警告** 運転中は、必ずお子さまの肩に肩ベルトをかけておいて下さい。肩から外れると、急ブレーキや衝突等の衝撃で、お子さまがチャイルドシートから飛び出すおそれがあります。

- 6** ベルトクリップをお子さまの体型に合わせて、首から5～10cm程度離れた胸の位置（お子さまのわきの高さくらい）で止める。
（P.27「ベルトクリップの使い方」参照）。

⚠警告 肩ベルトが外れない様に、ベルトクリップは必ず胸の辺りに取り付けして下さい。肩ベルトが外れると、急ブレーキや衝突等の衝撃で、お子さまがチャイルドシートから飛び出すおそれがあります。



肩ベルトの高さ調節

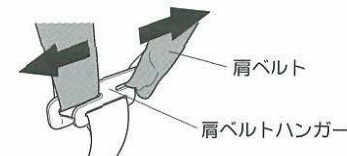
※このチャイルドシートには、お子さまの成長に合わせて肩ベルトの高さを調節できるように、3段階の肩ベルト通し穴が付いています。

※この操作をする場合は、バックカバーを外して下さい。（P.26「バックカバーの着脱方法」参照）。

※お子さまの成長により肩ベルト通し穴が肩より著しく低くなり、肩高さに合わなくなったらネストクッションを取り外して使用して下さい。*

取り外し方

- 本体後側の肩ベルトハンガーから片側ずつ肩ベルトを外し、本体肩ベルト通し穴の前側から肩ベルトを抜き取る。



⚠警告 肩ベルトの高さ調節後は必ずバックカバーを取り付けて下さい。バックカバーを取り付けずに使用すると、事故時のダメージを軽減する機能が発揮できなくなるおそれがあります。

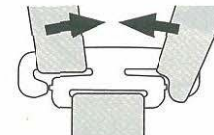
後ろ向き使用 肩の高さより低い肩ベルト通し穴を使用します。



⚠警告 お子さまの肩より高い肩ベルト通し穴は使用しないで下さい。肩より高い位置で使用すると、事故時のダメージを軽減する機能が発揮できなくなるおそれがあります。

取り付け方

- 本体前側からお子さまの肩高さに合う位置の肩ベルト通し穴に肩ベルトを差し込み、本体後側から肩ベルトを引き出し片側ずつ肩ベルトハンガーに掛ける。



⚠警告 必ず、肩ベルトがねじれていないことを確認して下さい。肩ハーネスがねじれていると、事故時のダメージを軽減する機能が発揮できなくなるおそれがあります。

前向き使用 肩の高さより高い肩ベルト通し穴を使用します。



⚠警告 お子さまの肩より低い肩ベルト通し穴は使用しないで下さい。肩より低い位置で使用すると、事故時のダメージを軽減する機能が発揮できなくなるおそれがあります。

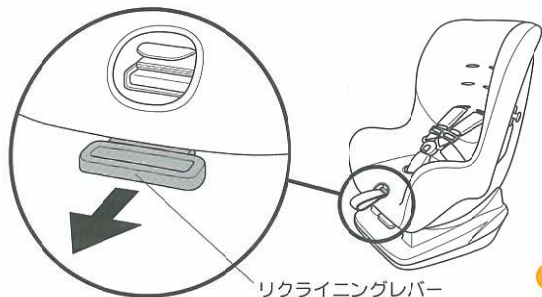
* 体重9kg未満のお子様には、（後ろ向き取り付け時）、ネストクッションを取り付けた状態で評価しておりますので、必ずネストクッションを取り付けて使用して下さい。

リクライニング調節

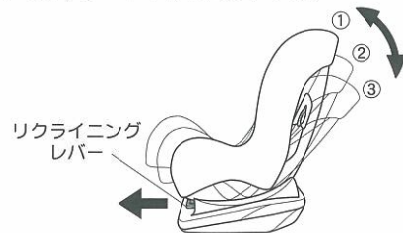
※リクライニングは全3段あります。前向き取り付けの場合は1～2段目いずれかに、後ろ向き取り付けの場合は3段目にしてお使い下さい。

- ① 脚部正面のリクライニングレバーを手前に引く。

- ② リクライニングレバーを引きながら角度を変える。角度が決まったら、リクライニングレバーを離し、チャイルドシート本体をロックする。



リクライニングレバー

リクライニング
レバー

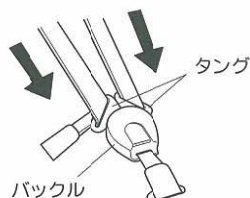
△警告 リクライニングレバーを離したときにリクライニングレバーが奥に戻り、チャイルドシート本体がロックして動かないことを必ず確認して下さい。また、リクライニングレバーが奥に戻っていないときは、チャイルドシート本体を軽く前後に動かしてロックさせて下さい。ロックされていないと、チャイルドシートがガタついて、事故時のダメージを軽減する機能が発揮できなくなるおそれがあります。

バックルの着脱方法

※この操作は、お子さまのシートへの乗り降りの際に行います。

バックルをロックする

- ① タング部を持ち、肩ベルトが肩にかかるように引き出し、バックルに固定する。

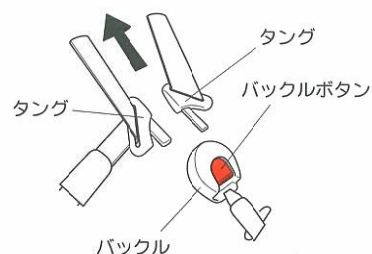


バックル

△警告 バックルに固定したときカチャというロック音を確認し、確実にロックしたことを確認して下さい。タングが抜けると、衝突や急ブレーキなど、事故時のダメージを軽減する機能が発揮できなくなるおそれがあります。

バックルを解除する

- ② バックルのバックルボタンを押す、タングを外す。



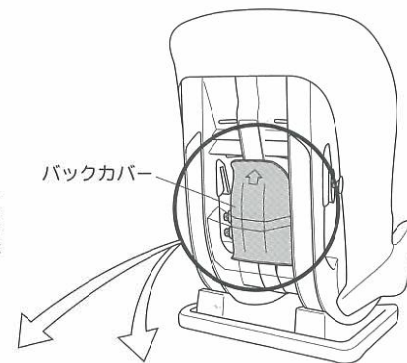
バックル

バックカバーの着脱方法

※下記の場合バックカバーを取り外して下さい。

- ・肩ベルトの高さを調節する場合
- ・シートカバー類を取り外す場合

△警告 上記作業終了後は、必ずバックカバーを取り付けてチャイルドシートをお使い下さい。バックカバーを取り付けていないで使用すると、事故時のダメージを軽減する機能が発揮できなくなるおそれがあります。



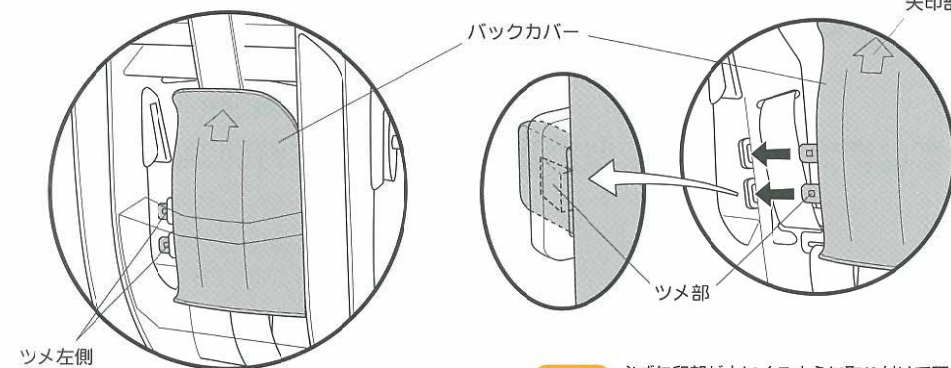
バックカバー

バックカバーの取り外し方

- 左右どちらかのツメ2ヶ所をまず外してから、残りの2ヶ所を外し、バックカバーを取り外す。

バックカバーの取り付け方

- バックカバー矢印部が、図のように上にくるように本体にツメを引っ掛け取り付ける。



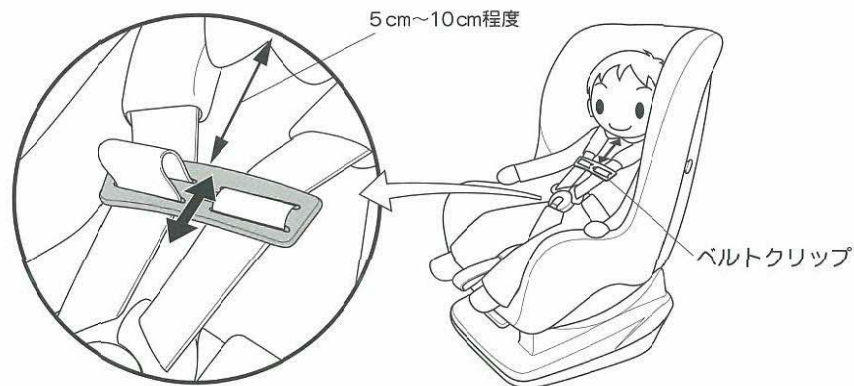
△警告 必ず矢印部が上にくるように取り付けて下さい。矢印が下にくるように取り付けると、事故時のダメージを軽減する機能が発揮できなくなるおそれがあります。

△注意 確実にツメ部が挿入されていることを確認して下さい。

ベルトクリップの使い方

※ベルトクリップを使うことにより、お子さまの肩から肩ベルトがずれるのを防ぎ、肩ベルトを常に正しい位置にかけることができます。

お子さまの首から、5cm～10cm程度離れた胸の位置（お子さまのわきの高さくらい）にくるように位置を調節してお使い下さい。



⚠ 警告 肩ベルトが外れない様に、ベルトクリップは必ず胸の辺りに取り付けて下さい。肩ベルトが外れると、急ブレーキや衝突等の衝撃で、お子さまがチャイルドシートから飛び出すおそれがあります。

シートカバー類の洗濯

※シートカバー類がよごれた場合は本体より取り外し洗濯することができます（P.29「シートカバー類の取り外し方」参照）。中性洗剤を使用し必ず手で押し洗いをして下さい。



⚠ 注意 洗濯後は、完全に乾燥させてからお使い下さい。

シートフレーム等のお手入れ

※シートフレーム等のプラスチック部が汚れた場合は、乾拭きか水拭きをして下さい。

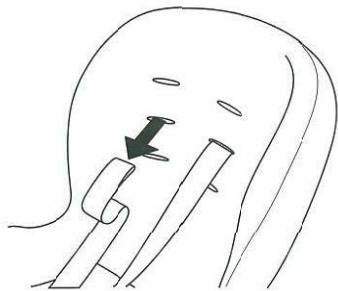
⚠ 注意 水拭き後は、完全に乾燥させてからお使い下さい。

お願い 洗剤類を使用しないで下さい。変色等のおそれがあります。

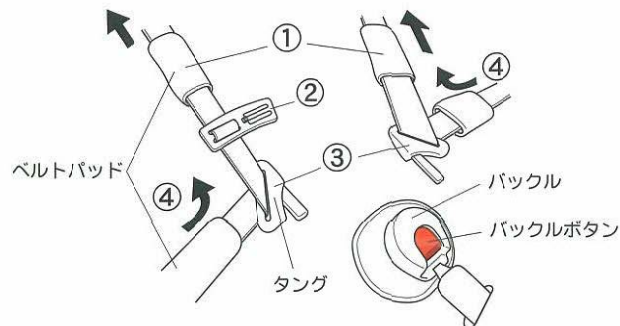
シートカバー類の取り外し方

※シートカバー類は本体から取り外し洗濯することができます。シートカバー類には次の種類があります。
(ベルトパッド×4、股ベルトパッド×1、シートカバー×1、ネストクッション×1)

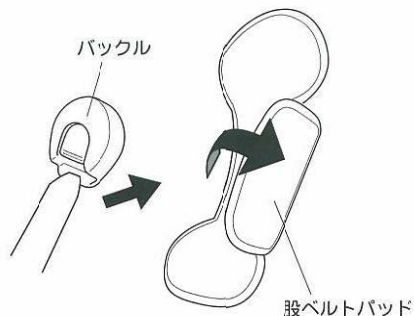
1 肩ベルトを取り外す(P.24「肩ベルトの高さ調節」参照)。



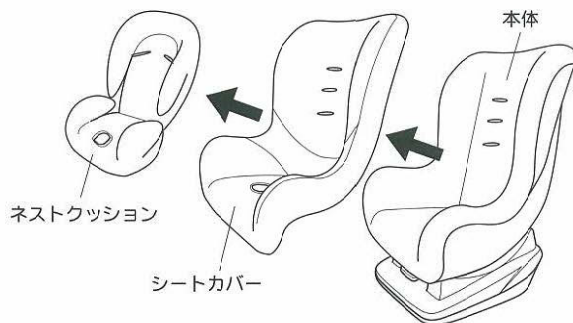
2 バックルボタンを押しタングを外す。肩ベルトから①ベルトパッド、②ベルトクリップ、③タング、④ベルトパッドの順で抜き取る。



3 股ベルトパッドを取り外す。



4 本体からネストクッション、シートカバーを取り外す。



シートカバー類の取り付け方

取り外し方と逆の手順で各カバー類を取り付ける。

⚠警告 ベルトがねじれていないことを確認して下さい。ベルトがねじれていると事故時のダメージを軽減する機能が発揮できなくなるおそれがあります。

⚠警告 拘束性能に影響を与えるおそれがあるため、専用カバー以外は絶対に使用しないで下さい。

⚠注意 シートカバー類は必ず取付けて使用して下さい。取り付けない状態での使用は、強い日光により、プラスチック部などが高温になり、やけどをする可能性があり、大変危険ですので絶対におやめ下さい。

アフターサービスについて

保証書

- 保証書(P.31)は、お買い上げの販売店から製品をお受け取りの際に、必ず「お買い上げ日、販売店名」などの記入をお確かめ下さい。
- 保証書の内容をよくお読み下さい。
- 保証書を取扱説明書から切り離さずに、チャイルドシートの所定の場所(P.8参照)に大切に保管して下さい。

修理を依頼されるときは

●保証期間中は

- 保証書の規定に従って当社が修理させていただきます。

●保証期間経過後は

- 修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

◆次の事項をご連絡下さい

- ①故障の状況
- ②製品名
- ③製造ロットNo. (背面のラベルに記載あります)
- ④お買い上げの年月日
- ⑤お客様のお名前、ご住所、電話番号

ご不明な点や修理に関するご相談は

※お買い上げの販売店、または裏表紙記載の当社お客様相談センターにお問い合わせ下さい。

保証書

本書は、本書記載内容および条件で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げから下記記載の期間中に故障が発生した場合は、お買い上げの販売店または裏表紙記載の当社お客様相談センターにお問い合わせ下さい。

製品名	販売店名
ロットNo (背面のラベルをご確認下さい)	住所
お買い上げ日 年 月 日	TEL

保証規定

- 保証期間内（お買い上げ日より1年間）に正常な使用状態において万一故障した場合には、無料で修理致しますので、本書をご提示の上、お買い上げの販売店または裏表紙記載の当社お客様相談センターへお申し付け下さい。
- 保証期間内でも次のような場合は、有料修理となります。また、有料修理のため当社に送付する場合の送料及び、返送料はお客様にてご負担下さい。
 - ・本書のご提示がない場合
 - ・本書の所定事項（お買い上げ日、販売店名など）への記載が無い場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - ・お客様の使用上の誤りによる、または改造や不当な修理による故障及び損傷。
 - ・自然劣化（樹脂部の紫外線劣化、メッキ部の錆、塗装の剥がれなど）。
 - ・シートカバー類の傷、破れやベルトクリップの破損
 - ・火災、地震、水害、落雷、その他天災地変など外部要因による故障および損傷。
 - ・一般家庭以外で、業務用やレンタルなどでご使用され、故障または損傷した場合。
 - ・お買い上げ後の輸送・移動・落下等による故障および損傷。
 - ・取り付けた自動車側やその他の製品から受けた故障および損傷。
- 一度ご使用になった製品は、原則としてお取り換えできません。
- 衝突事故など、一度でも強い衝撃を受けた製品の修理はできません。
- この本書は日本国内のみ有効です。
- 製品の修理、保証等に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店または裏表紙記載の当社お客様相談センターにお問い合わせください。

保証期間：お買い上げ日より1年間	修理メモ
お客様の住所	
お客様のお名前	
TEL	

●お買い上げ後、お客様のお名前、ご住所などをただちにご記入願います。

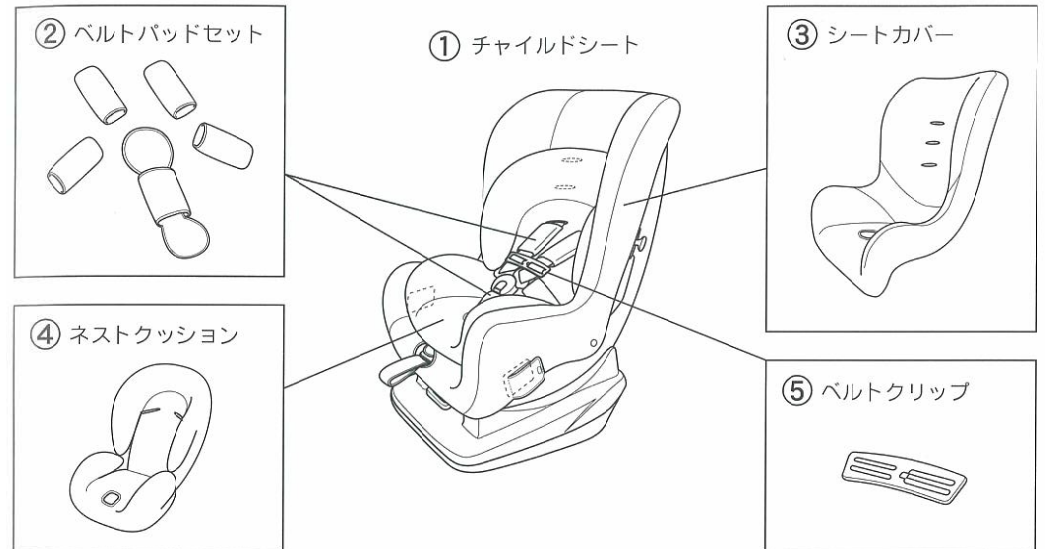
●本書は再発行いたしません。

●この本書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの本書によって法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または裏表紙記載の当社お客様相談センターにお問い合わせください。

補修部品について

番号	品名	品番	備考
①	チャイルドシート	08795-00760	
②	ベルトパッドセット	08795-00761	ベルトパッド×4、股ベルトパッド×1
③	シートカバー	08795-00762	
④	ネストクッション	08795-00763	
⑤	ベルトクリップ	08795-00764	

⑥ ロックオフレバーASSY 08795-00765 左右セット、レバーと はまる部分セット



お問い合わせ・ご相談は下記へお願いいたします。

トヨタ自動車株式会社

お客様相談センター
全国共通・フリーフォン

 **0070-800-778899**
フリーフォン

〒461-8711 名古屋市東区泉一丁目23の22

オープン時間／月曜～金曜（除く祝祭日）9:00～12:00 13:00～17:00

08795-00760-01